

日野町財政事情公告

日野町財政事情の作成及び公表に関する条例（昭和 30 年日野町条例第 31 号）第 2 条および地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定により、平成 30 年 3 月 31 日現在の公営企業の業務状況をここに公表する。

平成 3 0 年 6 月 1 日

日野町長 藤 澤 直 広

平成29年度下半期(10月～3月)水道事業業務状況報告書

1. 概況

(1) 受水状況

当町の水道事業は、県が運営する湖南水道用水供給事業により、水道水を賄っています。

平成29年度下半期の受水状況は右表のとおりであり、1日平均受水量は7,098.3m³で、去年同期と比べて日量18.5m³(0.3%)の増となりました。

湖南水道用水供給事業からの受水状況

	平成29年度	平成28年度	比較増減
10月	212,947	215,415	△ 2,468
11月	205,564	201,078	4,486
12月	217,376	211,388	5,988
1月	228,593	229,788	△ 1,195
2月	208,494	208,615	△ 121
3月	218,914	222,239	△ 3,325
計	1,291,888	1,288,523	3,365
日数	182	182	0
日量	7,098.3	7,079.8	18.5

(単位:m³)

(2) 有収水量

平成29年度下半期の給水状況は、給水人口20,438人(H30.3.31現在)で前年度より146人減少しましたが、1日平均有収水量は6,225.8m³で、去年同期と比べてほぼ同水量となりました。(1日1人当たりの有収水量は305ℓ)

平成29年度末における使用給水栓数は、昨年度から107栓増加し7,700栓となっています。

調定有収水量の比較増減

	平成29年度	平成28年度	比較増減
10月	167,106	166,688	418
11月	212,355	209,252	3,103
12月	153,930	160,770	△ 6,840
1月	214,198	215,778	△ 1,580
2月	174,324	175,594	△ 1,270
3月	211,186	204,991	6,195
計	1,133,099	1,133,073	26
日数	182	182	0
日量	6,225.8	6,225.7	0.1

(単位:m³)

(3) 建設改良事業の状況

平成29年度の建設改良事業は、9年計画の4年目となる主要幹線配水管の布設替工事を実施しました。

(4) 経理の状況

ア、予算の補正の状況

補正予算計上は行っていません。

イ、予算の執行状況

平成29年度の予算執行状況は、次のとおりです。予算執行状況(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

● 収益的収支

(単位:円)

科目	当初予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	補正予算額	流用増減額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
水道事業収益	646,168,000	0	0	0	646,168,000	660,922,343	102.3
営業収益	568,592,000	0	0	0	568,592,000	584,150,475	102.7
営業外収益	77,576,000	0	0	0	77,576,000	76,771,868	99.0
水道事業費用	635,270,000	0	0	0	635,270,000	588,493,859	92.6
営業費用	608,357,000	0	0	0	608,357,000	564,445,582	92.8
営業外費用	25,913,000	0	0	0	25,913,000	24,048,277	92.8
予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0.0

※ 予算額および執行額は、消費税額を含んでいます。

●資本的収支

(単位:円)

科 目	当初予算額	繰越額による財源 充当額及び繰越額	補正予算額	流用増減額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
資本的収入	45,384,000	0	0	0	45,384,000	50,032,270	110.2
国庫補助金	16,684,000	0	0	0	16,684,000	17,949,000	107.6
出 資 金	8,300,000	0	0	0	8,300,000	8,300,000	100.0
工事負担金	20,400,000	0	0	0	20,400,000	23,783,270	116.6
資本的支出	255,436,000	0	0	0	255,436,000	185,072,801	72.5
建設改良費	208,359,000	0	0	△ 1,015,000	207,344,000	136,981,800	66.1
企業債償還金	47,077,000	0	0	0	47,077,000	47,076,762	100.0
国庫補助金返還金	0	0	0	1,015,000	1,015,000	1,014,239	99.9

(注) 資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

※ 予算額および執行額は、消費税額を含んでいます。

ウ、決算の状況

① 損益収支

営業収益は、前年度と比較して総額で5,914,078円の増額となりました。これは、給水収益が7,007,832円増加したものである。近年、節水機器の普及や節水意識の向上等によって水需要が低下傾向にあります。当町の水道使用量も平成27年度までは年々減少してきたのですが、平成28年度以降増加しています。平成29年度は年間配水量で2.1%、有収水量は1.1%増加となりました。ただし、使用量の増加は冬季に偏っており、平成28年度以降寒波の影響から、凍結防止等により使用量が増加したことが主な要因と考えられます。

営業費用は、漏水修理委託料など、維持管理に要する費用は前年度と比較して増加しましたが、管路システムの支払が平成28年度にあったため、当該費用支払分の減少により、総額で9,108,758円の減額となりました。

この結果、平成29年度の経常利益は64,206,666円となり、欠損金から累積利益剰余金47,913,098円となりました。

●比較損益計算書

(単位:円)

科 目	平成29年度 決算額(A)	平成28年度 決算額(B)	比 較 増 減	
			(A) - (B)	(A)/(B)%
水道事業収益	618,172,890	613,894,601	4,278,289	100.7
営業収益	541,402,392	535,488,314	5,914,078	101.1
営業外収益	76,770,498	78,406,287	△ 1,635,789	97.9
特別利益	0	0	0	皆減
水道事業費用	553,966,224	564,276,105	△ 10,309,881	98.2
営業費用	538,303,647	547,412,405	△ 9,108,758	98.3
営業外費用	15,662,577	16,863,700	△ 1,201,123	92.9
特別損失	0	0	0	皆減
当年度純利益	64,206,666	49,618,496	14,588,170	129.4

※損益計算書は消費税抜きの額です。

② 財務状況

平成29年度末の総資産は、前年度より40,023,545円増加し、4,116,319,333円となりました。負債については54,504,671円減少し、1,999,838,435円に、資本は94,528,216円増加し2,116,480,898円となりました。

●比較貸借対照表

科 目	資 産 の 部			科 目	負 債 お よ び 資 本 の 部		
	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	比較増減		平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	比較増減
固定資産	2,876,374,696	2,929,273,697	△ 52,899,001	固定負債	773,302,427	824,052,602	△ 50,750,175
流動資産	1,239,944,637	1,147,022,091	92,922,546	流動負債	152,738,986	101,517,435	51,221,551
				繰延収益	1,073,797,022	1,128,773,069	△ 54,976,047
				負債合計	1,999,838,435	2,054,343,106	△ 54,504,671
				資本金	1,705,006,811	1,696,706,811	8,300,000
				剰余金	411,474,087	325,245,871	86,228,216
				資本合計	2,116,480,898	2,021,952,682	94,528,216
合 計	4,116,319,333	4,076,295,788	40,023,545	負債資本合計	4,116,319,333	4,076,295,788	40,023,545

※貸借対照表は消費税抜きの額です。

③ 企業債の状況

平成30年3月31日現在の企業債の現在高は756,052,602円です。

エ、平成30年度の事業および予算の概要

清浄な水道水の供給によって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するため、本年度も、1日平均7,000m³の水道水の供給を予定しています。水道水の安定供給を図ることを目的に、住民生活に欠くことのできないライフラインの維持管理を行うとともに、引き続き健全な水道経営を目指すと共に企業努力に努めてまいります。

また、平成26年度から5年計画で実施してきた北山の主要幹線配水管の布設替について、西部配水池まで区間を延長し9年計画で耐震化工事を進めていくこととしています。

平成30年度当初予算の概要

● 収益的収入および支出

(単位:千円)

款	項	金額	備考
水道事業収益		652,201	
	営業収益	576,404	
	営業外収益	75,797	
水道事業費用		632,653	
	営業費用	606,961	
	営業外費用	24,692	
	予備費	1,000	

※ 予算額は、消費税額を含んでいます。

● 資本的収入および支出

(単位:千円)

款	項	金額	備考
資本的収入		74,300	
	国庫補助金	44,200	
	出資金	9,700	
	工事負担金	20,400	
資本的支出		346,287	
	建設改良費	295,536	
	企業債償還金	50,751	

(注)資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

※ 予算額は、消費税額を含んでいます。